

宮城県石巻市立大川小学校から未来へ

# 小さな命の 意味を考える

「3.11を学びに変える～大川小学校の校庭から」

あの日起きたことに、子ども達はどのように向き合い生きてきたのか。どのような未来に向かおうとしているのか。そして私たち大人の役割は？全国どこでも「被災地」になり得る時代です。また、私たちの前に立ちはだかるのは自然災害だけではありません。21世紀を生き抜くために、3.11をどのような学びに変えていくべきなのかを考えます。

講演者



スマートサブライビジョン特別講師

佐藤 敏郎氏

1963年、宮城県石巻市生まれ。宮城教育大学卒業後、中学校の国語科教諭として宮城県内の中学校に勤務。2015年3月退職。東日本大震災当時宮城県女川第一中学校（現在の女川中学校）に勤務。震災後の2011年5月、生徒たちの想いを五七五に込める俳句づくりの授業を行い、テレビ、新聞、書籍等で紹介される。2016年度の中学校1年生の教科書にも掲載されることになった。震災後は女川中学校、矢本第二中学校で防災担当主幹教諭、宮城県の防災教育副読本の編集委員も歴任。震災で当時大川小学校6年の次女を亡くす。現在は、全国の学校、地方自治体、企業、団体等で講演活動を行う。2015年からは、震災当時子どもだった若者がディスカッションを行う企画「あの日を語ろう、未来を語ろう」を各地で展開。2016年「16歳の語り部」（ホブラ社）を刊行、「平成29年度 児童福祉文化推薦作品」を受賞。大川伝承の会 共同代表、NPOカタリバアドバイザーの他、ラジオのパーソナリティーとしても活動。

2026  
**4月8日(水)**

お申込みは  
右記QRか  
裏面FAXにて  
お申込み下さい



【会場】北とぴあ14階 カナリアホール

【住所】東京都北区王子1丁目11-1

【参加費】講演会 2,000円／懇親会別途 4,000円

【定員】50名

【タイムスケジュール】

18:20 開場・受付

18:40 開会・佐藤氏講演

19:40 講演終了

19:50 懇親会開催

21:10 懇親会閉会